

保護者の皆様

新型コロナウイルス感染への対応について 《第19報》

～特別な3週間で～

校長 石川 博朗



12月も半ばを迎え2学期の授業日数も残すところあと11日となりました。全国各地からは初霜や初雪の便りが聞かれる中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の報が毎日伝えられています。東京都も今月に入り感染率がやや上昇し、重篤な状況にある人の数も徐々に増えてきました。本校では改めてその対策を徹底していますが、ご家庭におかれましても引き続き予防に重々努めていただきますようお願いいたします。

さる12月3日に、文部科学省から「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」第5版が示されました。その中で、何点か学校とご家庭がともに留意すべきことがありましたのでお伝えいたします。

1. 感染した小学生の73%が「家庭内感染」 高校生の35%が「経路不明」

学校が再開した6月1日から11月25日までの間に、児童生徒3,300人、教職員471人、幼稚園関係者206人の感染の報告がありました。10月以降から国内の患者が増加する中で、学校に関わる感染者も増えてきていますが、その大半が学校内で患者1人とどまり、学校内の拡大があった場合でも、地域での感染拡大につながった事例は確認されていません。これは各学校の感染拡大防止のための工夫や努力によるところが大きいと考えています。しかし、その感染経路は、小学生の73%(1,256人中916人)が「家庭内感染」である一方、高校生は「感染不明」が35%(1,224人中431人)と多くなっています。高等学校では生徒の生活圏が広がるので、学校外における感染対策をしっかり意識させる必要があります。同じ子供でも、その年齢や状況により感染の様相が異なることを今一度理解する必要があると考えます。

2. 感染がより拡大した場合には

最近の昭島市の感染状況を見てみますと、ほぼ毎日患者があり、しかも複数人が罹患する日が増えていくように思います。12月1日から12月8日の間の患者数は15人に上りました。現在の感染状況がさらに悪化し、予防対策のステージが上がった場合には、6月のような「分散登校」や「時差登校」の措置を講じることも考えられます。また、現在行っている教育活動や行事がさらに制限されることになるでしょう。今後、子供たちを感染させないために緊急な対応を講じることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。そうしないためにも、この特別な3週間、どうぞ活動を抑制し予防に努めましょう。

3. 3学期の行事について

(1) 書写展・学習発表会(2月27日)

例年、1月の学校公開と同時期に、子供たちの「書き初め」の作品を廊下に掲示し鑑賞していただいていたのですが、今年は1月の学校公開が中止になった関係で、学習発表会の日に掲示します。新春を迎えた子供たちの思いあふれる伸びやかな「書き初め」をお楽しみください。なお、今年から、優秀作品を全校で表彰することにしました。これは、「子供たちの良さを積極的に認め励まし、自信をもたせよう」という学校の取組の一環です。自己肯定感の高い子供が一人でも多く育つことを願います。

また、「学芸会」の代わりに「学習発表会」を行います。体育館での発表ではなく、



各教室等でのグループごとに分散して発表する形式になります。

(2) 卒業式(3月25日)

今のところ「卒業式」を挙げる予定で準備を進めています。市内の小学校13校でその内容や方法をそろえるよう調整を進めています。現在までに、「在校生の参加はなし」「呼びかけや門出の言葉は行わない」「式への参列は1家庭2名まで」「記念撮影は児童と教職員で」等が決まっています。後日、詳細が決まり次第お知らせしていきます。「卒業生を送る会」についても、現在検討中です。

《お礼》 ほぼ全員の子供が登校時、家を出るときからマスクをしてくるようになりました。ご家庭のご協力に感謝します。ただ、朝の検温をしてこない子供が毎日10名ほどいます。どの子供にも、「自他を守るすべ」を身に付けさせたいです。どうか、もう一声を。